

## まとめ

木更津市立小中学校の適正規模と適正配置のあり方という、とても重要な事項の審議にあたっては、委員それぞれが様々な視点から意見を出し合い、当初8回を予定していた会議は、審議を重ねるごとに活発となり、合計12回を数えることとなりました。

適正配置のあり方については、適正規模を確保することを根底に置きながらも、児童生徒の急増している地域の学校と、増加の可能性の低い地域の学校では、考慮すべきことを多角的な視点から検討し、それぞれの学校にとっての適正配置を考えてきました。これから先、木更津市の情勢がどのように変わっていくのかを推し測ることは非常に難しく、また、特に小規模校の審議に際しては、地域社会や学校の歴史などの様々な観点からも、議論が進まなくなることが多々ありましたが、その度にこの審議会の原点に立ち返り、何よりも大事にすべきは子どもたちの教育環境の整備、子どもたちにとって望ましい学校のあり方を最優先として結論を出してきました。

その結果、小中学校2校ずつの計4校の統廃合と、分離による新設1校、移転による新設2校の結論とともに、数校の小中学校における通学区域の見直しを含めた本答申となりました。

今後、答申の方策が講ぜられれば、現在31校中8校しかない適正規模の学校が、将来的には28校中18校となり、木更津市の小中学校の適正配置に向けて非常に有効であると考えます。

結びに、この答申が、より良い教育環境の実現につながり、学校教育の一層の充実と、木更津市の子どもたちの学習活動や人間形成に大きな役割を果たすことを期待します。

### 【今後の展望】

学校規模	小 学 校	中 学 校
小規模 (11学級以下)	鎌足小学校 金田小学校 中郷小学校 馬來田小学校 (富岡小学校を統合)	木更津第一中学校 鎌足中学校 金田中学校 富来田中学校 清川中学校 (中郷中学校を統合)
適正規模 (12学級以上 18学級以下)	木更津第一小学校 ※木更津第二小学校 西清小学校 南清小学校 (東清小学校を統合) 祇園小学校 岩根小学校 高柳小学校 ※波岡小学校《移転》 畑沢小学校 ※請西小学校 ※八幡台小学校 ※(仮称)真舟小学校《新設》	※木更津第二中学校《移転》 ※木更津第三中学校 ※岩根中学校(岩根西中学校を統合) ※太田中学校 畑沢中学校 波岡中学校
大規模 (19学級以上)	清見台小学校	
計	17校	11校

※答申の方策を講ずることにより適正規模を確保する学校